

記者発表資料 平成23年10月27日

東日本大震災「花とみどりの復興支援ネットワーク」の設立について

(社) 日本公園緑地協会  
TEL 03-6328-3829  
東日本大震災「花とみどりの復興支援  
ネットワーク」事務局  
担当：唐沢

## 東日本大震災「花とみどりの復興支援ネットワーク」の設立について

平成23年10月1日

### 趣 旨

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は我が国史上まれにみる広範囲にわたる激甚災害であり、国をあげてその復旧・復興をはかることが求められています。復旧・復興は非常に長期にわたる事業であり、短期・中期・長期といったステージごとに様々な支援も必要となります。

花やみどりの専門家である私たちは、当面は緊急的な課題である生活環境の向上を目途とした支援活動を重点的に展開し、花づくりや緑化等の支援を進め、各ステージに則した「花とみどり」に係わるプランの提案及び支援活動を展開するため、花とみどりの有する「心のやすらぎやうるおい」などの効用を被災者に届けるため、花とみどりにかかわる公益法人等や業界関係者で構成する「花とみどりの復興支援ネットワーク」を平成23年10月1日に設立いたしました。

### 「活動内容」

- (1) 自らの団体の活動として復興支援活動を行い、その活動をネットワークに登録。
- (2) 参加構成団体等と連携協力して、地方公共団体等の要請等を受け、いこいの広場等のプランの作成、花とみどりの贈呈や支援金の提供並びに専門家の人材派遣などの人的支援（以下「花とみどりの連携事業」という。）。

### 「実施体制」

- ・ 花と緑に係わる公益法人等や業界関係者に幅広く参加協力を呼びかける。
- ・ 事務局は、以下の団体が役割分担をしながら事務局をつとめ必要に応じて追加する。  
公益財団法人日本花の会、財団法人日本花普及センター、社団法人日本公園緑地協会

### 「WEBサイト」及び「花とみどりの復興支援ネットワーク基金」の開設

- ・ 登録団体の活動状況および支援内容についてWEBで公開する。
- ・ 地元自治体や団体などからの支援希望内容についてWEBで公開する。
- ・ 支援金提供者リスト及び花とみどりを活用した復興支援活動の募集並びに成果をWEBで公開する。
- ・ (公財) 日本花の会の機能を活かし資金管理を行う。

銀行、支店名：三井住友銀行 東京営業部 口座番号：普通 8369584

口座名義：コウエキザイダンホウジンニホンハナノカイフッコウキキングチ

(公益財団法人 日本花の会 復興基金口)

- ・ 参加構成団体が主催・参加する花とみどりの各種イベントで支援金の募集を呼びかける。
- ・ 花とみどりの関連商品の販売事業の中でも創意工夫して支援金を呼びかける。

※（公財）日本花の会への個人、法人からの寄附金は、特定公益増進法人への寄附金優遇措置の対象。

※WEBサイトのURL <http://www.jfpc.or.jp/flag>(作成中)

## ◎短期、中期、長期的な活動方針

【短期：仮設住宅への支援】逐次公共団体等の要請等により追加する。

住民の方々の心身の健康維持と地域の絆が保たれ、より豊かな生活が過ごせることを願い仮設住宅等に花とみどりのある環境整備プランの提案及び支援を行う。

- ・プランターによる緑化、
- ・屋内を飾る切り花や寄せ植え等の多様な花育活動の支援
- ・いこいの広場の提供 等

【中長期：まちに戻っての生活再建】

中長期的には地域の愛着を深め、まちの活気や活力を生み出すため、歴史や身近な自然など、地域の個性を活かしたまちの魅力づくりに資する花とみどりの創出・保全・再生プランの提案及び支援を行う。

復興公園、〇〇の丘、〇〇の森、〇〇の街道 等

## 参加団体

(財) 海洋博覧会記念公園管理財団、(財) 公園緑地管理財団、(財) 国際花と緑の博覧会記念協会、第29回全国都市緑化フェア TOKYO 実行委員会、(財) 都市緑化機構、(社) 日本植木協会、(一社) 日本運動施設建設業協会、(社) 日本家庭園芸普及協会、(社) 日本公園施設業協会、(社) 日本公園緑地協会、(社) 日本造園建設業協会、(社) 日本造園組合連合会、(一財) 日本造園修景協会、(公財) 日本花の会、(財) 日本緑化センター、(社) ランドスケープコンサルタンツ協会、(財) 大阪府公園協会、(公財) 東京都公園協会、(財) 名古屋市みどりの協会、(財) 新潟県都市緑花センター、(財) 兵庫県園芸・公園協会、特定非営利活動法人緑の蝶々

(社) 園芸文化協会、(一社) 全国花卸協会、(社) 日本インドア・グリーン協会、(社) 日本花き卸売市場協会、(社) 日本花き生産協会、(社) 日本生花商協会、(一社) 日本生花通信配達協会、(財) 日本花普及センター、(一社) 日本フローラルマーケティング協会、(一社) 花の応援団、(社) フラワーソサイエティー、(一社) プリザーブドフラワー全国協議会、全国花育活動推進協議会、日本ハンキングバスケット協会、花のカプロジェクト、(株) イーフローラ、(株) 日比谷花壇 (39団体)

## 活 動 事 例

**支援団体:**(社)日本家庭園芸普及協会

**支援先:**被災地の仮設住宅・学校・幼稚園・保育園・病院・福祉施設等。

**支援内容:**5月から9月の間に、花の苗・プランター・培養土等、23箇所の地域に2,610セットをお届けした。地元の方と一緒に現地で植え込みを行い、協会の認定する「グリーンアドバイザー」による育て方のアドバイスや園芸相談なども行っている。さらに、それぞれのお届け先に秋植え球根をお届けして、来春も花を楽しんでいただくことを計画している。

**支援状況:**5/22 大船渡市 末崎町仮設住宅、7/18 大船渡市 永沢仮設住宅、8/20 陸前高田市 県立高田病院、8/21 釜石市 箱崎町仮設住宅、8/22 宮古市 赤前保育園、宮古第一病院、8/28 東松島市仮設住宅、8/29 東松島市大曲保育所、8/30 いわき市好馬保育所、9/11 南相馬市原町商店会、大甕地区復興会、気仙沼小学校、9/19 石巻市大指仮設住宅 他。



**支援団体:**(財)都市緑化機構

**支援先:**被災地域の仮設住宅(公共団体)

**支援内容:**プランター、花苗、土・肥料

**支援状況:**

仮設住宅等で生活されている方々の支援を目的に、植物とプランターをセットで提供(宝くじ協会の協力による)。七ヶ浜町、仙台市、香取市、八戸市、相馬市、桑折町、飯館村、国見町の計49ヶ所の仮設住宅に、2710基のプランターと14,450ポットの花苗をお届けした。うち9ヶ所の仮設住宅ではボランティアを募り、入居者の方々とともに植え付け作業を行っている。



**支援団体:**(社)日本公園緑地協会

**支援先:**宮城県石巻市内の仮設住宅のある以下の都市公園:水押公園、袋谷地東公園、蛇田団地南公園

**支援内容:**花苗:500苗(ベコニア、マリーゴールド、ニチニチソウ、サルビア、デルフィニウム)、園芸用スコップ、培養土の贈呈

**支援状況**

平成23年7月7日(木)公園で活動をされていた公園愛護会の会員の皆さんに公園の空いているスペースに花の苗を植えてもらい、仮設住宅に入居される方々を花で迎え入れていただき、入居後花の管理を入居者と一緒に行っている。



**支援団体:**(一社)日本運動施設建設業協会

**支援先:**宮城県仙台市・石巻市・岩手県宮古市・福島県楡葉町の小中学校及び教育委員会

**支援内容:**サッカーボール14ダース、-halfパンツ200枚、空気入れの贈呈及びサッカー教室の開催

**支援状況:**平成23年4月27~29日及び5月11,12日に、宮城県仙台市を中心に、学校・教育委員会にサッカーボール等を贈呈致しました。また、サッカーチーム「ベガルタ仙台」のご協力により、仙台市荒浜小学校・同高砂中学校でサッカー教室を開催、ベガルタ仙台の奈良橋氏、平瀬氏に参加・

ご指導頂き、子供達の元気な姿を見ることができました。贈呈に対して、荒浜小学校より感謝状を頂き、福島県・岩手県の新聞に、贈呈の様子が掲載されました。



## 活 動 事 例

**支援団体：公益財団法人日本花の会**

①**支援先**：女川 桜守りの会（宮城県女川町）

**支援内容**：ソメイヨシノの保全協力

津波で甚大な被害に遭いつつも開花したソメイヨシノを守りたいという地元住民からの依頼を受け、その保全に取り組んでいる。

**支援状況**：

①2011年5月18日に損傷部の整理と塩分除去、土壌の塩分希釈、踏圧や乾燥防止のマルチング、幹焼け防止の幹巻などの応急処置を施した。以降、地元でできた桜守りの会から経過を観察、報告してもらっている。

②7月11日には、数本の芽吹きを確認した。

③9月30日に夏越しした芽を接ぎ木し、後継樹の育成を開始した。



②**支援先**：なとり観光プロジェクト  
実行委員会（宮城県名取市）

**支援内容**：ソメイヨシノの後継樹育成協力  
震災の被害を乗り越えたサクラを用いて新たな桜の名所をつくる復興計画の相談を受け、閑上（ゆりあげ）小学校や閑上中学校の桜を用いた 3,000 本の苗木の増殖に取り組んでいる。

**支援状況**：

2011年9月7日に閑上地区において穂木を採取し、9月9日に日本花の会結城農場内にて接木を実施した。2012年11月には1m以上の苗木になるように農場で育成管理を進めている。今後、復興計画の進展に合わせて、この苗木からさらに苗木を増殖していく予定にしている。



**支援団体**：（財）日本緑化センター

**支援先**：陸前高田市の「希望の松」の回復

**支援内容**：（社）日本造園建設業協会、日本造園学界と連携して「希望の松」の樹勢調査・回復のための対策を実施している。

**支援状況**：3月11日の大津波により高田松原は消滅し、陸前高田市には甚大な被害がもたらされた。その後、奇跡的に生き残ったマツは、「1本松」と呼ばれ陸前高田市民の希望の光となる。

**【調査結果】**

3月：樹木外観診断からは、樹幹部に樹皮の剥離や裂傷がみられた。



4月：樹冠部のマツ枝葉は、しおれや変色がなく健全な状態を持続していた。

6月：周囲からの海水混じりの地下水侵入を少しでも遮断するため、幅15m×15m、深さ5mまで鉄の板を打ち込んだ。

7月：前年の葉がほとんど枯れた状態になったが、あちこちに新芽が伸びて、マツボックリもできていた。「希望の松」は、何とか生きようと、必死になって枝の先端まで水分を吸い上げているようだった。



9月：今年の夏もきびしい猛暑が続いたため、新芽の多くは変色し、元気なマツボックリも少なくなり、希望の松は再び衰弱してしまった。

10月～：今後は、根系の活力などを含め確認調査を実施する予定である。

私たちは、東日本大震災の復旧・復興を  
花とみどりで支援するため、専門家で構成する  
**「花とみどりの復興支援ネットワーク」**  
を設立しました。



( ) FAX(03)3584-7695 e-mail:hananokai@komatsu.co.jp



## 参加団体

(財) 海洋博覧会記念公園管理財団、(財)公園緑地管理財団、(財) 国際花と緑の博覧会記念協会、第29回全国都市緑化フェア TOKYO 実行委員会、(財)都市緑化機構、(社)日本植木協会、(一社)日本運動施設建設業協会、(社)日本家庭園芸普及協会、(社)日本公園施設業協会、(社)日本公園緑地協会、(社)日本造園建設業協会、(社)日本造園組合連合会、(一財)日本造園修景協会、(公財)日本花の会、(財)日本緑化センター、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(財)大阪府公園協会、(公財)東京都公園協会、(財)名古屋市みどりの協会、(財)新潟県都市緑化センター、(財)兵庫県園芸・公園協会、特定非営利活動法人緑の蝶々、(社)園芸文化協会、(一社)全国花卸協会、(社)日本インドア・グリーン協会、(社)日本花き卸売市場協会、(社)日本花き生産協会、(社)日本生花商協会、(一社)日本生花通信配達協会、(財)日本花普及センター、(一社)日本フローラルマーケティング協会、(一社)花の応援団、(社)フラワーソサイエティー、(一社)プリザーブドフラワー全国協議会、全国花育活動推進協議会、日本ハンキングバスケット協会、花のカプロジェクト、(株)イーフローラ、(株)日比谷花壇

